

多摩大学オンラインクリスマス会の企画設計運営記録

彩藤ゼミ 学籍番号 21911285 氏名 濱 大貴

1.活動の概要・目的

2020年12月23日にオンラインSNS「Cluster」を用いて、同システム内に3D制作ソフト「Blender」と、ゲーム制作ソフト「Unity」を用いて仮想空間「バーチャル多摩大学Inクリスマス会」を製作し、オンラインクリスマス会を行った。

製作においては多摩大学彩藤ゼミの「クリスマス会プロジェクトチーム」が主軸となって活動した。当初の目的は「留学生に対するイベント」であったが、途中から「各ゼミのオンライン紹介の為の試験イベント」という側面も追加され、より大規模なものへと変化していった。

最終的な成果としては当日来場者数75名、常設来場数91回（2021年1月25日時点）という記録となった。当日の来場者の傾向としては先生方が多い傾向が強かった。

2.具体的な活動内容

活動開始時期は明確ではないが、2020年11月23日頃からゼミ内での製作が開始され、同月26日に統括役が決定。以降本格的なスタートを迎える。

「ゼミの説明展示」という項目は後付であった上に、期間が相当限られていた事から担当を限定したほうが良いという判断で、統括のみが担当し、展示室の小物作成のみ、彩藤ゼミ生が担当した形となった。

会場のデザインの部分はプロジェクトマネージャーに大きく依存した。

3.ゼミの説明会としての側面

本イベントは当初「留学生のための」と銘打たれてスタートした。しかし統括役が決定すると、その後「学園祭との比較」という事項に当てはめていくことになる。

11月に行われた「多摩大学バーチャル学園祭」にて行えなかった、各ゼミの紹介などを今回のイベントで試験的に行おう。という追加の目的が発生し、その方向でイベントが動いていくことになる。

4.全体を振り返っての反省点

全体を振り返って、多くの反省点を残すことにもなった。特に「目的のブレ」は次回以降の大きな反省点となる。また説明不足・準備時間不足であったことは明白であり、宣伝に関してももう少し大々的に、早期的に行うべきであった。